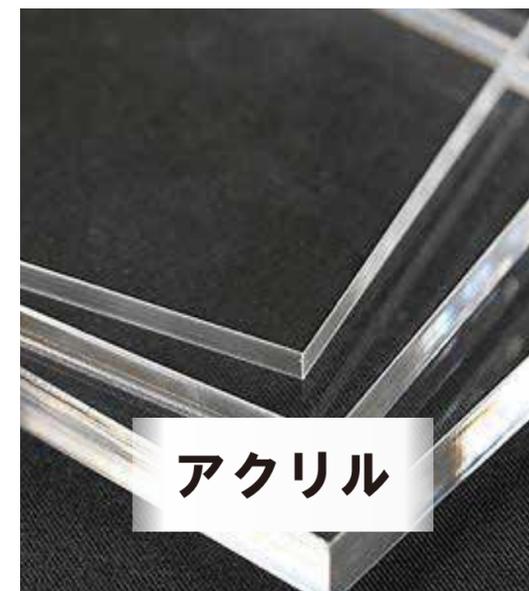


加炭材受け入れ可能品目



特徴

- プラ新法に則った施策で、リサイクル率向上を発信できます。
- 従来使用される石炭を廃プラスチックに代替することで、資源の節約や脱炭素に貢献することができます。
- 幅広いプラスチックに対応可能。種類や素材・形状問わず、多少不純物が混ざっていても基本的には問題ございません。
ただし、銅や鉛、硫黄、タイヤ類など 一部禁忌品がございますので、ご注意ください。

「〇〇は対象品目なの？」などご不明点があった際には、**0120-925-025** までお問い合わせください。